



|     |                 |
|-----|-----------------|
| 現在  | 平成 30 年 5 月 1 日 |
| 世帯数 | 1,862           |
| 人口  | 4,741 人         |
| 男   | 2,303 人         |
| 女   | 2,438 人         |

今年度新たに神林地区地域づくりセンターに中川修さん、三村和紀さん、中嶋和佳さんが着任されました。代表して中川修センター長にお伺いしました。

隣の和田出身の中川修と申します。

松本市では「健康寿命延伸都市」を目指すべき都市像として掲げ、その土台となる施策として「地域づくり」に取り組んできました。

おかげさまで、神林地区でも、町会や公民館役員をはじめ、民生・児童委員、健康づくり推進員など、多くの皆さまのご尽力の結果、地域づくりの推進体制は整いつつあります。その一方で地域包括ケアシステムの構築や交通対策など全市共通の課題に併せ、空港対策や公害対策など、神林ならではの課題もありま

思います。よろしくお願ひします。

**三村和紀主事**

① ことも部ことも福祉課で、児童手当等の給付担当をしていました。

② 皆さまお元気でやさしい。

③ 皆さまに早く顔と名前を覚えていただけるよう頑張りたいと思います。

**中嶋和佳囃託**

① 松本市文書館で受付事務をしていました。

② 皆さまやさしい方ばかりですね。

③ 窓口に来た皆さまをお待たせすることのないように頑張りたいと思います。

**中川修センター長**

① 本庁舎の5階でした。さあ、どこでしょう！

② 家から近いだけでなく、家族のことまで知っている人がいたのは驚き。

③ 神林のために尽くしたいと

**新任職員に質問しました。**

- ① 前職は何でしたか？
- ② 神林へ来て感じたことは？
- ③ 今後の抱負は？



三村主事 (下段左)、中川センター長 (下段中央)、中嶋囃託 (下段右)

**平成30年度 神林公民館事業計画**

4月24日、神林公民館運営委員会が開催され、本年度の事業計画と予算が承認されました。

本年度の主な公民館事業は次のとおりです。

**【広報活動】**

- ・ 公民館報 (年6回)
- ・ 公民館だより (年12回)
- ・ 館報研修会への参加

**【図書視聴覚活動】**

- ・ 写真展の開催
- ・ 自然観察会の開催

・ 玄関ホール、講座室の図書整理

**【体育活動】**

- ・ スポーツフェスティバルの開催 (9月2日)
- ・ 球技大会の開催 (2月24日)
- ・ 婦人ソフトバレーの共催

**【芸術文化活動】**

- ・ ポスターコンクールの開催
- ・ 文化祭の開催 (10月14日)
- ・ 史跡めぐりの実施
- ・ 歴史文化財等の見つけ直し

**【学習活動他】**

- ・ ライフステージ、教養・趣味、食育等の講座開催
- ・ サークル・同好会等の育成・支援

**【人権啓発推進活動】**

- ・ 視察研修、県市研修会参加
- ・ 啓発資料の作成・配付

**町神町会 「お花祭り」開催**

5月6日、町神公民館前にある延命地藏尊でお花祭りが行われました。

本来のお花祭りはお釈迦様の誕生日 (4月8日) ですが、年度の始まりの忙しい時期を避けて、5月の第一日曜日に行われています。

町内の子供達、PTAの皆さん、町会の役員が集まり、お堂の準備、お花や甘茶を用意しました。

お花できれいに飾られたお堂のお釈迦様に子供達が代わる代わる甘茶をかけていきます。

お釈迦様の言葉「天上天下唯我独尊」のもと、子供達が伸び伸びと自分らしく大きくなってくれることを願っています。



公民館活動を担う役員さん

神林公民館委員

運営委員

町会長

川西 横山 正  
 川東 百瀬 茂敏  
 寺家 矢嶋 悦男  
 南荒井 三村 茂  
 町神 ◎和出 秀男  
 下神 倉科 史人  
 梶海渡 塩原 和男  
 町内公民館長  
 川西 塩原 茂  
 川東 藤牧 芳文  
 寺家 吉澤 初夫  
 南荒井 上原 章  
 町神 村山 良  
 下神 ○山口 秀明  
 梶海渡 上條 安雄  
 館報編集委員長 △田辺 肇  
 ◎副委員長 中川 眞  
 図書視聴覚委員長 村山 文子  
 ◎副委員長 藤牧 秋子  
 体育委員長 柳沢 克彦  
 ◎副委員長 川端 英二  
 文化委員長 山本小百合  
 ◎副委員長 野口文次郎  
 柳沢 政志  
 塩原 義幸  
 倉科 美保  
 三村 範行  
 佐々木茂雄  
 松下 秀一  
 百瀬 さわ

民生児童委員協議会長 浅田 武門  
 子ども会育成会長 丸山 勝久  
 健康づくり推進員会長 木次由美子  
 農村女性協議会会長 野口 孝美  
 神林商工会長 上條 薫  
 体育協会会長 浅田 芳保  
 学識経験者  
 菅野小学校校長 小沢 智子  
 菅野中学校校長 松島 恒志  
 二子小学校校長 奈良井 範久  
 館報編集委員  
 川西 滝内 和利  
 川東 吉家 一  
 寺家 ○中川 眞  
 南荒井 ◎田辺 肇  
 町神 ◎木次由美子  
 下神 千代倉信二  
 梶海渡 上條 一  
 川西 塩原貴美子  
 川東 櫻井 圭子  
 寺家 平林 孝子  
 南荒井 ○藤牧 秋子  
 町神 ◎村山 文子  
 下神 ○新井 絹代  
 梶海渡 高山 博文  
 体育委員 筒井 公夫  
 川西 塚田 明子  
 川東 塚田 昌明  
 原 真由美  
 穂高 夏樹  
 棚橋 武子  
 小川 啓之  
 古畑 育代

寺家 幹  
 新井 祥之  
 矢嶋 都子  
 百瀬 匡浩  
 島田 リサ  
 藤牧 英生  
 高橋 真美  
 ◎柳沢 克彦  
 小林ます代  
 石川 誠  
 野口 奈美  
 ◎川端 英二  
 佐々木 彩  
 倉科 善洋  
 ○山本小百合  
 新開 恒快  
 塩沢ふじ子  
 塩原 雄一  
 三澤 純子  
 倉科 東和  
 百瀬 和恵  
 上條 直樹  
 深沢 悦雄  
 逸見 勝繁  
 ◎柳沢 政志  
 ◎野口文次郎  
 丸山 仁  
 塩原 芳晴  
 公民館長 塩原 秀俊  
 館長補佐 中川 修  
 主事 三村 和紀  
 嘱託 中嶋 和佳  
 ◎委員長  
 ○副委員長  
 △:会計 幹:幹事

神林公民館職員

わがまち自慢 5

下神の道祖神



二基とも文字も碑。向かった。1651年に、下神林村から梶海渡村が分かれ、4村と一部が欠となった。当初は、4村とも松本藩の領地であったが、その後天領(上神林村と水代村、下神林村の一部)、松本藩領地と領地関係は複雑となつていく。◆近代では、明治7年に4村が合併し、神林村となり、昭和29年には松本市に合併した。(松本市史より)◆現在は、町会として、川西、川東、寺家、南荒井、町神、下神、梶海渡の7町会である。◆1979年に神林に引越してきたが、わが家の周りの田んぼには、夜になると蛍が飛び交い、幻想的であったことを懐かしく思う。時代は移り変わるが、町の存続と原風景は変わらないでほしいと願う。昨今である。

鎖川

キーワードはなに?  
 本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で10名に500円分の図書カードをプレゼント!締切は6月29日(金)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】 ひのきかぶんしょう  
 【今回のキーワード】 ○○○○○○

